

# 【開通1年後】一般国道7号 青森環状道路の開通から 1年が経過して

(平成21年7月27日開通)

- ①交差点の渋滞が解消し走行速度も向上
- ②Co2排出量が削減



- ・事業経過:平成14年度 全線2車開通
- ・事業延長:4.4km(平成21年7月27日 4車線開通)
- ・幅員:28.0m

## ①筒井交差点の渋滞が大幅に解消

H20. 11. 19【開通前】



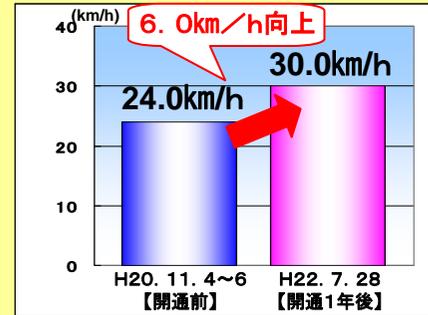
渋滞長:1,400m(上り線)  
 通過時間:13分(上り線)

H22. 7. 28【開通1年後】



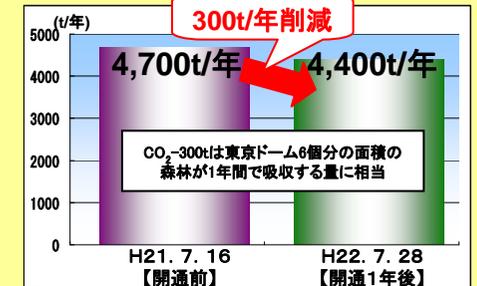
渋滞長:160m(上り線)  
 通過時間:1分(上り線)

## ②走行速度が6.0km/h向上



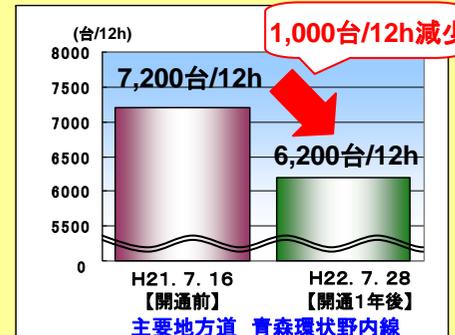
※走行速度とは測定日のピーク時(混雑時)における走行速度(上下線の平均)である。

## ③CO<sub>2</sub>排出量が300t/年削減

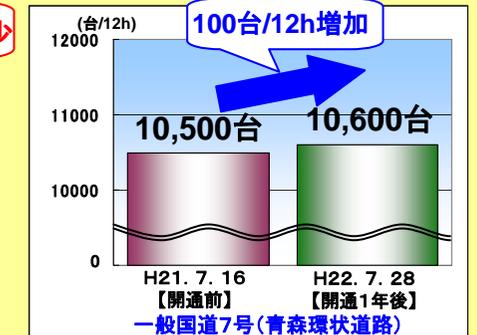


※CO<sub>2</sub>排出量の算出は24時間交通量と速度より算出している。  
 ※交通量は平日昼間(7時~19時)の交通量からH17センサスの昼夜率を用いて24時間の交通量を算出。  
 ※速度は平日昼間(7~19時)は実測値、夜間(19~7時)は60km/hとした。

## ④周辺道路から国道への交通転換が見られる



※H22. 7. 28は高速道路無料化社会実験中であり、青森環状道路から並行する高速道路への転換も想定される。



【開通1年後】一般国道7号  
**青森環状道路の開通から**  
 (平成21年7月27日開通) **1年が経過して**

③**現道の混雑緩和を**  
**周辺企業も実感しています**

青森河川国道事務所では、**開通前後での効果を把握**するため、青森環状道路の**周辺企業14社を対象にアンケート調査を実施**しました。

○業務において4車線化になってよかったこと

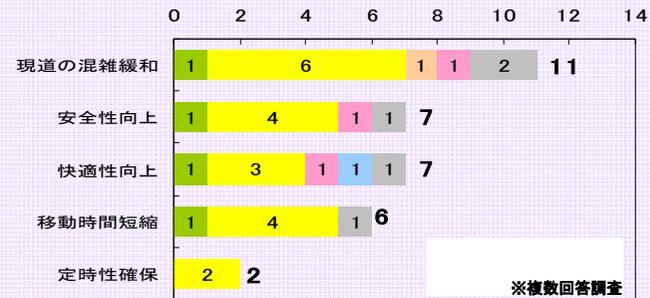
周辺企業へのアンケート調査の結果、『**現道の混雑緩和**』という回答が**約8割**(14社のうち11社が回答)と一番多く、次に『**安全性向上**』『**快適性向上**』について**約5割**の企業が開通効果として実感しています。



開通1年後の一般国道7号の状況

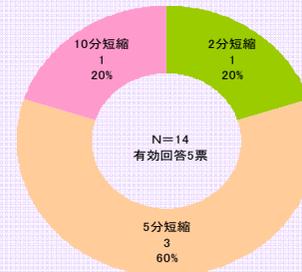


開通前の一般国道7号の状況



▲業務において4車線になってよかったこと

○実感している時間短縮効果は  
**約6割**(回答いただいた5社のうち3社が回答)の企業が『**5分短縮**』と回答



▲実感している時間短縮効果は

○その他、周辺企業の声

- ・車線減少による合流時の車線変更が無くなり安全になった。
- ・以前から利用していたが、4車線化で混雑しなくなり、移動時間が短縮し快適になった。
- ・時間短縮や効率アップのため開通した青森環状道路を利用するようになった。